

事務事業評価シート(平成21年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
02114	千葉県鋸南町との交流事業	まちづくり政策課	まちづくり係	松尾 一利	宮原 修二
		一次評価年月日	平成 22 年 6 月 10 日	連絡先(内線)	2209
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)
		☒ 一般 ☐ 特別	☐ 特別	0215	都市交流事業
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)		6章	活気に満ちたまちづくり
		節 (コード選択)		4節	あらゆる交流を活性化させる
		項[基本施策] (コード選択)		641	地域間交流の推進
		主な取り組み (コード選択)		6411	千葉県鋸南町との交流
関連する計画等への位置づけ	☐ 第四次行財政改革大綱	☐ 3ヶ年実施計画	☐ 主要業務報告	☐ その他	
事務期間	(開始) 元 年度 ~ (終了予定) 年度	開始時期不明	☒	終期設定なし	

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

友好都市締結をしている辰野町と鋸南町の住民

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

両町民が、行政・産業・教育・文化等の交流を通じ相互に理解を深め、友好親善を促進し、地域の発展と文化創造に貢献する。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1 さまざまな交流を促進し、相互理解と友好親善、地域の発展、文化の創造を図る。具体的な事業(長狭街道・ほたる駅伝への参加、ほたる祭り交歓会、りんごオーナー事業、JA上伊那まつり辰野会場・鋸南町農業祭での物産販売 4事業)

2

3

4

指標化

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		20年度	21年度	22年度(見込み)		22年度	年度(見込み)	
①	指標名	友好都市交流事業の取り組みメニューの数	6	4	4		4	
	説明	物産展、りんごオーナー事業などの取り組み状況	目標値設定の根拠					取組み事業の増減により目的達成状況を計る
②	指標名							
	説明		目標値設定の根拠					

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		20年度	21年度	22年度(見込み)		22年度	年度(見込み)	
①	指標名	友好都市鋸南町の知名度	-	95	-		80	
	説明	町民アンケートの「知っている」の割合	目標値設定の根拠					第4次後期基本計画策定のための町民アンケート結果と第5次総合計画策定時のアンケート結果とを比較し、友好都市の取り組み達成状況を推測する。(H17 75%)
②	指標名							
	説明		目標値設定の根拠					

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法 ☒ 決算書・予算書等に記載の数字 ☐ 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	1,830	1,222	1,230	1,230						
対前年比		%		66.7	100.7	100						
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)												
B) 一般財源(税金)			1,830	1,222	1,230	1,230						
①事業費		(千円)	656	265	265	265						
対前年比		%		40.4	100	100						
②人件費の概算		(千円)	1,174	957	965	965						
対前年比		%		81.5	100.9	100						
			課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費	
			H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H20 H21 H22 H23	/	/	/	/	
町職員(正規職員)			0.01 0.01 0.01	0.02 0.02 0.02	0.00 0.00 0.00	0.10 0.10 0.10	0.16 0.14 0.14	0.14 0.14 0.14	1,174	957	965	965
臨時職員			人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート						0	0	0	0

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	B	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある りんごオーナー事業 C 今後可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	A	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している 物産展などを実施する際に、直接意見をお聴きしている。 C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみを一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

提携20周年を迎えはたる祭りふれあいコンサートに合わせ鋸南町町民号歓迎式を実施し、節目事業を行った。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

22年度予算見積書への反映 あり なし

物産展等を実施するなかで経済交流への発展に繋がるよう検討する。

[反映内容]

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

鋸南町との各種イベント交流は定着したが、経済、教育等での交流方法の検討が必要である。

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止



b 上記 a~e を選択